

# 根っ子の会の観察日記

～根木内歴史公園:湿地の観察会(2017/10/28 実施)～

参加人数: 7名

台風がまた近づいているとかで空はどんより、いつ雨がふり出すのか。

全体をみわたすと、池のアシ、マコモはかなり茶色になって秋深の模様。ヒメジソはすでに花が終わって実をつけていた。ジュズダマも実、ソクズも花はすでになく、赤い実と腺体がのこる。実が少ないのは鳥がすでに食べたのか？ ヤブミョウガの種は黒っぽくなっているものから、まだほんのりで、これから変化しますよというのまで様々の様子。



スジモンヒトリガ



ハマオモトヨトウ

藪の中に入るとクロコノマチョウが姿をみせた。そして次は褐色の長い毛を持つケムシ。今日はムシに詳しいお姉さんも参加しているので、これはスジモンヒトリガの幼虫だと教えてもらう。毒はないとのことで手のひらに乗せて喜ぶ。この後キドクガも見つかったが、これは毒があるので触ると大変だ。ヒガンバナの葉に黒地に白、頭はオレンジのおしゃれな幼虫いた。ハマオモトヨトウだ。

ヤブマメが実をつけていた。ツルマメより少し幅が広いようなサヤだ。そのままにしてしまったが、中のマメはうずら豆の小型だとか。確かめるべきだったと後から思う。

モズ、シジュウカラ、ウグイスの音が聞こえる。アシの間にアオジの声も聞こえると、偶然出会った鳥の専門家が教えてくれた。



ヤブマメの実



セスジツユムシ

セグロセキレイが湿地を横切ってとんでいった。ここで出会うのは久しぶり。向こうの木の上でモズが鳴き始めた。草むらにはセスジツユムシ、オンブバッタ、オオカマキリのタマゴもいくつか見つかった。

シロバナサクラタデ、ボントクタデなどのタデ類の花は終わっていたが、イヌタデの花はびっしりと、まだまだ盛り。

ミゾソバも花は咲いているが、終わりに近い。コブナグサも随分ふえたようであちこちに穂を出している。今日の天候のせいかな穂をすぼめたまま風に揺れていた。秋の風にゆれるとステキなヌカキビも少し褐色になって実をつけている。皮をむくと小さいがキラキラ光る種が見られる。



ヌカキビ (右上は種子)



コブナグサ

カントウヨメナの紫が美しい。ハコベ、カラスノエンドウ、タネツケバナ、ケキツネノボタンなどの葉がひっそりと顔をだしている。ギシギシの葉を穴だらけにしている虫はハグロハバチの幼虫だ。つまむと丸くなってしまう。



カントウヨメナ



ハグロハバチの幼虫



アカバナを見に行くとすでに種をつけていた。そして周りの草にアメリカネナシカズラの黄色の弦が巻き付いて、白い花もさいている。今回もみんなで退治をするがなかなかやっかいな草だ。



アメリカネナシカズラの花



キイロテントウ

ミゾソバの葉上でキイロテントウを見る。テントウムシにこんなきれいな黄色いのあるとは知らなかったの、おどろく。

かわいらしいオメメが、と思ったらそれは模様で目はちゃんと頭の部分についていた。他にダンダラテントウ、ナミテントウなども見つかりテントウムシにもいろいろ種類があることを知る。エサキモンキツノカメムシ、ハサミツノカメムシ、とカメムシの仲間も見つかった。

それぞれの分野に詳しい方の参加が複数あったおかげで今日も楽しい観察会になった。雨もふらずにやれやれ。



ダンダラテントウ



図鑑を見ながらテントウムシの観察

11月の湿地の観察会は、、、

**11月19日(日)**

**9:30 駐車場集合** (小雨決行) です。